

しかし、取入口の移転といった姑息的な手段によつて解決が得られよう筈はなく、いずれは水道事業そのものが破綻を来たすものと想像されます。

このように、私たち土浦市民の生活基盤は根底からくつがえされつつありますが、これと同時に、古来盛んであつた漁業は、今や壊滅的な打撃を受け、農業においても多大の影響をこうむりつつあります。

更にまた、霞ヶ浦の汚染によつて失なわれた自然環境の美しさは、その損失を到底はかり知ることはできません。霞ヶ浦総合開発の中には、地域整備事業として、水産振興対策、水道の整備などに万全を期すことが明示され、また環境開発としては、湖を首都圏における保健、休養及び教化の場として維持発展させるべきことがうたつてありますが、もはやこのような計画は空文にしかすぎません。

自然の恵みに対する感謝の心を忘れ、欲望のままにただ奪うだけ奪い、その結果、今や湖は人間の醜い汚物だめと化しつつあるのです。

私たち市民が望んでいるのは、経済優先の、時代遅れの片ちんばの行政ではなく、真の意味で自然と人間を生かすことのできる、遠い未来を見通した計画であり、政治であります。もし今こそ、国や県がこれまでの水行政を根本的に反省し、湖を再びもとの美しい姿にかえすにはどうしたらよいかということについて、市民と共に、真剣に考えないとしたら、私たちは永久に霞ヶ浦を失なうことになるでしょう。

以下に示します「霞ヶ浦水質浄化に関する具体的提案事項」は、前述のアンケート調査にもとづいて作成されたものです。この提案はいづれも、湖を生き返らせるために欠くことのできないものであり、早急に実行に移さなくてはなりません。

私たち市民が安心して飲めるような、そして子どもたちが喜々として水にたわむれることのできるような湖にするために、関係者の方々の大いなるご理解と、ご努力をお願い申し上げます。土浦市民、霞ヶ浦周辺地区の住民ならびに「土浦の自然を守る会」の会員の署名をもって、ここに陳情致します。

土浦の自然を守る会 代表

佐賀純一

小松清次

荻沼護郎

中沢玲子

奥井登美子

入江史子

保立豊一

助川順子

坂橋正宣